

2024年10月8日

株式会社 TMJ

**TMJ、Everest Group が発表した 2024 年 CX ベンダー調査において、
アジアパシフィック地域の「メジャーコンテンドーズ」に選定**

「Market impact」「Vision & capability」それぞれのマトリックスポジションが上昇
アジアパシフィックでの存在感が高まる

コンタクトセンター・バックオフィス（事務処理センター）の構築・運営を行うセコムグループの株式会社 TMJ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：丸山 英毅、以下 TMJ）は、市場調査会社の Everest Group が 2024 年 9 月に発表した CX サービスベンダー調査である「Customer Experience Management (CXM) Services PEAK Matrix® Assessment 2024」において、アジアパシフィック地域の「メジャーコンテンドーズ」に選定されました。2つの評価軸である「Market impact」と「Vision & capability」それぞれで評価が向上し、アジアパシフィックにおける CX サービスベンダーとして存在感を高めています。



参照：Customer Experience Management (CXM) Services PEAK Matrix® Assessment 2024 - APAC
<https://www2.everestgrp.com/reportaction/EGR-2024-21-R-6632/Marketing>

Everest Group が実施する本調査は、アジアパシフィック地域のコンタクトセンターアウトソーシングを含む CX サービスベンダー29社を対象に行われています。各評価は Everest Group の 2024 年 RFI プロセス、主要な CXM サービスプロバイダーとのやり取り、クライアントへのリファレンスチェック、および CXM サービス市場の継続的な分析に基づき、「Market impact」と「Vision & capability」の2軸でマトリックス化されポジショニングされます。

TMJ は昨年に続き「メジャーコンテンドーズ」に選定され、「Market impact」と「Vision & capability」それぞれの評価が向上する結果となりました。



TMJは、「次世代コンタクトセンター」の推進をはじめ、革新的な取り組みにより、クライアントの顧客体験価値を最大化するノウハウとソリューションの提供をさらに強化していきます。加えて、クライアントのビジネスを最適にローカライズし、グローバル展開の成功を加速させます。これらの活動を通じて、信頼できるパートナーとして、今後もクライアントの成長を支援してまいります。

<株式会社 TMJ 会社概要> （ <https://www.tmj.jp/> ）

TMJ は、株式会社福武書店（現・株式会社ベネッセコーポレーション）のインハウスコールセンターより独立分社化する形で 1992 年に設立。世界でも例のない継続型の会員制事業で培った生産管理、品質管理のノウハウを活かし、多種多様なクライアント企業のコールセンターの設計・運営から、調査・分析、人材派遣、人材育成などのサービスを提供しています。2017 年には、セコム株式会社の 100%子会社となり、より強固で安全性の高いグループネットワークを活かし、クライアントビジネスの成功をサポートします。